

報道関係者各位

**Japa** 特定非営利活動法人  
パソコン整備士協会

プログラミング・eスポーツ教育など未来のIT人材育成支援を拡充！

# 全国の専門学校など教育事業者向けに パソコン整備士検定 受験対策講座を開始

特定非営利活動法人 パソコン整備士協会（住所：東京都千代田区、理事長：家喜 信行、以下「当協会」）はIT教育の普及を受け、IT人材を育成する専門学校など教育事業者向けにパソコン整備士検定 受験対策講座を開始しましたことをご報告いたします。

【背景】 社会のIT化に伴い、政府はプログラミング教育を小学校・中学校で必修化、高校でも2022年より必修化が予定されており、IT教育を積極的に推進しています。また、市場の拡大を背景にeスポーツの専門学校が新設されるなど、ICT環境を基盤とした教育が拡大しています。

一方で、プログラミングやeスポーツに特化した知識を持ち合わせていても、ICT環境を構成する知識をあわせて理解していなければ、学んだ専門知識を社会に出て有効に活用できるとは言い切れません。例えば、開発したプログラムやシステムで問題が生じた場合、問題はプログラム・ネットワーク・端末どこにあるのか切り分けが求められます。eスポーツ施設の運営事業者であれば、各プレーヤーが能力を発揮できるようにするための十分なスペックを備えた機器の選定、安定したネットワーク環境の整備、トラブル時の迅速な解決が求められます。これらに対応するにはハードウェアやネットワークの知識も必要です。

パソコン整備士検定は、初心者でもパソコンの基礎から企業のシステム担当レベルまで、各領域で必要となる知識や考え方を、3級から1級の資格取得を通して学ぶことができます。動作の基盤となるパソコンやネットワークの基礎、セキュリティ対策など安全に利用するための対策、トラブル時に迅速に原因を切り分け対応できる能力など、ICT環境を構成する基礎知識が身につきます。

基盤となる知識を身につけ、社会で活躍できるIT人材育成支援の一端を担うべく、パソコン整備士検定 受験対策講座を開始しました。今後、IT人材を育成する専門学校などを通して受験される学生向けの教育事業者向けライセンスを構築し、IT人材育成の支援を拡充予定です。

## ■教育事業者向けライセンス（構築予定）

全国のパソコン教室や、専門学校など各種教育事業者向けのパソコン整備士検定講座を拡大を図ります。また、今後講師育成メニューと、各教育事業者経由で受験した合格者向けの専用ライセンスを今後制度の構築と拡充を予定しております。講師は、当協会で定めた条件を満たす業界従事企業から紹介を行います。

## ＜パソコン整備士検定 受験対策講座 導入事例＞

滋慶学園COMグループにて今年度よりeスポーツ専門学科を専攻する学生を対象に、日本PCサービス株式会社より講師を派遣し、受験対策講座を先行開始しています。eスポーツにおけるソフトウェアなどに関連させ、パソコンの構造や動作原理を、業界従事者ならではの視点で講師の経験も交えわかりやすく講義を行っています。



対象者	滋慶学園COMグループのeスポーツ専門学科を専攻する学生向け (プロのeスポーツ選手、eスポーツの監督・イベント運営・解説MCを目指す学生が対象)
開催方法	オンライン開催（週1回・半年間）
講義内容	eスポーツにかかわるパソコンの動作等を交えながら資格取得に向けた対策講座を開催。

●受講者の感想：「パソコンの整備を人に教えられるようになってみたいと思った。」「独学で学んだことを、さらに深くまで知ることができ楽しい。」「毎週内容が濃い授業なので楽しみ。」「（セキュリティの授業で）ウイルスに感染しないための知識が重要だと感じた。」などの声が寄せられています。

リリースに関するお問合せ

特定非営利活動法人 パソコン整備士協会 担当：水野

■E-mail：[npopc@pc-seibishi.org](mailto:npopc@pc-seibishi.org)設立：2002年1月8日内閣府認証 所在地：東京都千代田区神田小川町2-1 檜ビル6階1号室 URL：<https://www.pc-seibishi.org/index.php>

事業内容：パソコン整備士資格の認定試験実施、パソコン整備士資格の認定、パソコンの整備と修理に関する講習会の実施、会報及び出版物の発行、仮想化基礎検定試験の実施